

第2学年 道徳学習指導案

日 時 平成27年11月6日（金）3校時
学 級 2年1組（男子11名 女子11名 計22名）
授業者 中坂 将晴

1 主題名 あきらめずにやりぬく【1－（2）勤勉努力】

2 資料名 「さかあがり できたよ」（「小学校道徳2 みんなのしく」東京書籍）

3 主題設定の理由

（1）価値について

学習指導要領第3章の道徳第1学年及び第2学年の内容1「主として自分自身に関すること」の（2）に、「自分がやらなければならない勉強や仕事は、しっかり行う」とある。これは勤勉に、くじけず努力し、自分を向上させる児童を育てようとする内容項目である。この項目は次のように発展していく。

低学年1－（2）
自分がやらなければならない勉強や仕事は、しっかりと行う。

中学年1－（2）
自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる。

高学年1－（2）
より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する。

中学校1－（2）
より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやりぬく強い意志を持つ。

児童が自立し、よりよく生きていくためには、自分がやらなければならないことは、あきらめずに最後までやり抜くことが大切である。そこには、何事にも粘り強く取り組み、努力し続ける忍耐力も求められる。しかし、それは見通しもなく取り組むのではなく、よりよい自己を実現しようとする向上心との結びつきが大切である。そのためにも、児童がより高い目標を立てたり、夢や希望を掲げたりして、その達成や実現への志をもち、勇気をもって取り組むことができるようにすることが重要になる。

この時期の児童は、やらなければならないことを素直に受け入れることが多い。特に身近な勉強や自分のなすべき仕事を、自分でやるべきこととして自覚し、しっかりと行うことができるよう育てたい。また、やり遂げたときの喜びや充実感を味わい、がんばることができた自分に気付くことができるようにしたい。

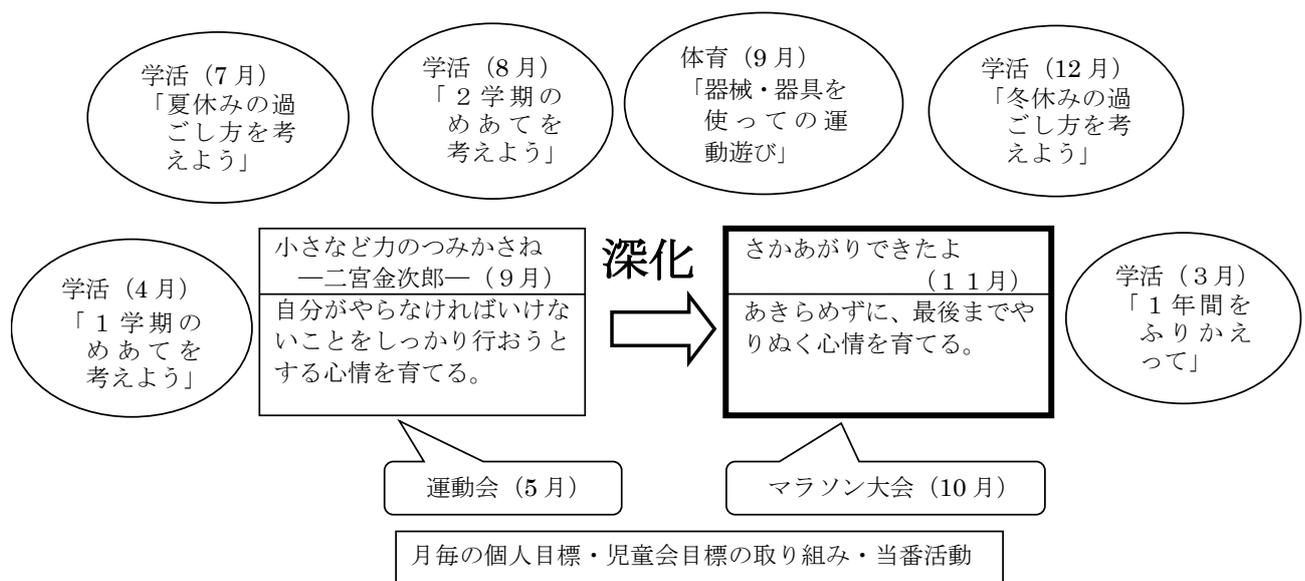
（2）児童について

児童は、授業や家庭学習などの勉強、当番活動や日直などの仕事を通して、自分がやらなければならないことは何かを自覚し、進んで行動できるようになってきた。また、勉強や仕事に限らず、習い事やスポーツ少年団など様々なことに興味を持ち取り組んでいる児童も見られる。しかしながら、やるべきことややろうと決めたことに対して、自分から目標を持って取り組もうとする姿はほとんど見られない。そのため、見通しもなく取り組むことで徐々に意欲が低下したり、他の事に気を取られてしまったりすることが多い。

そこで、本指導を通して、身近なことや興味のあることに目標を持ち、最後まであきらめずに取り組むことで得られる喜びや達成感に気付かせていきたい。

4 教科・領域との関連と補充・深化・統合の視点

- ・「小さな力のかみかさねー二宮金次郎ー」では、「自分がやらなければいけないことをしっかり行おうとする心情を育てる。」をねらいとして、目標を持ち、最後までやり遂げたときの喜びを主人公の気持ちから学んできた。
- ・特別活動では、個人のめあてを学習面・生活面・運動面で考え、月毎にふり返しを行ってきた。また学級では、児童会の月目標に対しての取り組みを話し合い、反省を行ってきた。
- ・運動会やマラソン大会では、個人の目標に向かって練習に取り組む中で、目標を持つことで得られる達成感や困難さを経験してきた。
- ・本資料「さかあがりできたよ」では、「あきらめずに、最後までやりぬく心情を育てる。」をねらいとして指導していく。



5 本時の指導

(1) ねらい

目標を持ち、あきらめずに最後までやりぬく心情を育てる。

(2) 指導にあたって

- ・導入では、今がんばっていることを交流し合い、自分の生活をふり返らせたい。そこから目標を持って取り組もうとしている主人公へと話をつなげることで、価値への導入を図りたい。
- ・展開では、目標を持ちながらもうまく逆上がりができない主人公の心に十分に共感させたい。またそこからやり遂げることで味わう、喜びや充実感に気付かせたい。その後自分をふり返り、感想を書く活動を取り入れることで、本時の資料から自分の生活に結び付けて考えさせたい。
- ・終末では、日常の様子からあきらめずにやりぬこうとする児童の紹介をする。

(3) 展開

段階	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点
導入 5分	1 がんばっていることを話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・さか上がり。 ・スポ少のサッカー。野球。 ・習い事のピアノ。柔道。ダンス。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて事前にアンケートをとっていたものを紹介する。 ・がんばっている主人公へ話をつなげることで、価値への導入を図る。
展開 35分	<p>2 資料について話し合う。</p> <p>○ 練習したけど、一人でできないわたしはどんなことを考えていたでしょう。</p> <p>◎ 夏休みになっても、毎日鉄棒で練習したのはどうしてだろう。</p> <p>○ 何回も逆上がりができた時、わたしはどんな気持ちだったでしょう。</p> <p>3 自分の生活をふり返る。</p> <p>○ あきらめずにがんばって良かったことはありますか。</p> <p>○ 今日の学習をふり返って、自分の生活について考えたことを書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分にはできないかも。 ・できないからもうやめようかな。 ・もう少しがんばろう。 ・あきらめたくない。 ・もう少しがんばりたいから。 ・やめたらもったいないから。 ・あきらめられないから。 ・できるようになるまでがんばりたいから。 ・できてうれしい。 ・みんなに見てもらいたい。 ・練習してよかった。 ・あきらめないでよかった。 ・サッカーの練習をがんばってシュートが入った。 ・ピアノの練習をがんばって弾けるようになってうれしかった。 ・業間マラソンでがんばって去年より順位が上がって良かった。 ・これからもスポ少の練習をがんばりたい。 ・目標を持って、あきらめずにがんばりたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・範読後、場面の挿絵から主人公の目標や動機などについて簡潔におさえる。 ・できない時の主人公の気持ちを想起させる。 ・うまくできないことにしっかり向き合う主人公の気持ちをとらえさせる。 ・目標を達成する喜びに十分に共感させる。 ・自分自身の生活を振り返らせることにより、日常での価値への一般化を図る。 ・自分をふり返り、感想を書かせることで、日常での実践の意欲付けを図る。
終末 5分	4 勉強や学校行事、スポ少などでやり遂げた児童を紹介する。	<ul style="list-style-type: none"> ・マラソン大会に向けて昼休みも走っていた〇〇さん。 ・逆上がりに挑戦して手にマメができた〇〇さん。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の日記や日常の写真から最後までやり遂げる良さを実感させ、意欲を持たせたい。

(4) 板書計画

とかありがとう できたよ

挿絵

挿絵

わたしもできるよ
うになりたい

練習したけどできない

・もう少しがんば
ろう。
・あきらめたくな
い。

・自分にはできない
かも。
・できないから
もうやめたい。

夏休み・まい日れんしゅう

挿絵

・もう少しがんばりたい。
・やめたらもったいない。
・あきらめられない。
・できるようになりたい。

八月十二日・やつとできた

挿絵

・できてうれしい。
・がんばってよかった。
・あきらめないでよかった。
・くじけずさいごまでやつ
てよかった。
・もつといるんなおまをや
つてみたい。

あきらめないでがんばる